

領域	専門基礎分野	授業科目	解剖生理学 I	単位 (授業時間/時間数)	1 (28/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	非常勤講師	講師所属			

授業のねらい

看護は医療を担う重要な仕事である。適切な良い看護を行うためには、人の身体や疾病についての十分な知識をもつことが不可欠であり医療の質を高める上で重要である。

人体の正常な構造と機能を知ることにより、病気の成り立ちを理解し、それに対する対処の仕方を正確に知ることができる。

体は構造的に連続した器官系統でできており、機能的にはそれらの系統が互いに相関しあって高度な身体機能が営まれている。看護を学んでいく中で人間を理解する身体的側面として、人体の器官系を学ぶ。また、正常な生理機能・防御機構を学習し、看護実践の基礎となる疾患の病態生理基礎が理解できるようになる。

解剖生理学 I では、人体の細胞・組織・外部環境からの防御及び栄養・消化について教授する。

授業目標

人体における細胞・組織、外部環境からの防御について理解する。

栄養・消化・吸収の、メカニズムと働きについて理解する。

授業概要

1. 解剖生理学を学ぶための基礎知識 (4 時間)

- 1) 人体とはどのようなものか
 - (1) 人体の階層性
 - (2) 自然界における人類の位置
 - (3) 社会のなかの人体
- 2) 人体の素材としての細胞・組織
 - (1) 細胞の構造
 - (2) 細胞を構成する物質とエネルギーの生成
 - (3) 細胞膜の構造と機能
 - (4) 細胞の増殖と染色体
 - (5) 分化した細胞がつくる組織
- 3) 構造と機能からみた人体
 - (1) 構造からみた人体
 - (2) 機能からみた人体
 - (3) 体液とホメオスタシス

2. 栄養の消化と吸収 (8 時間)

- 1) 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能
 - (1) 膵臓
 - (2) 肝臓と胆嚢の構造
 - (3) 肝臓の機能

3. 栄養の消化と吸収（16時間）

1) 口・咽頭・食道の構造と機能

(1) 咽頭と食道の構造と機能

2) 腹部消化管の構造と機能

(1) 胃の構造

(2) 小腸の構造

(3) 大腸の構造

(4) 胃における消化

(5) 小腸における消化

(6) 栄養素の消化と吸収

(7) 大腸の機能

3) 腹膜

(1) 腹膜と腸間膜

(2) 腹膜と内臓の位置関係

(3) 胃の周辺の間膜

授業の進め方

講義

教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能〔1〕（医学書院）

参考図書

からだの地図帳（講談社）

評価方法

終講時 客観式テスト（10点 20点 70点）

試験時間は時間数に含む。